



将来の夢



国籍	籍種	インドネシア
		非加熱性水産加工食品製造業
実習実施者		株式会社ふかくら
監理団体		公益社団法人日本・インドネシア経済協力事業協会

グナワン サトリ
GUNAWAN SATORI

私はグナワン・サトリと申します。人の名前には祈りや願いが込められていると言われていきます。私の名前のグナワンには「役に立つ男性」という意味があります。サトリは、昔私の村にいたサトリさんという人からきています。その人は、やさしくて人を助けるのが好きで宗教にも詳しい人でした。両親は私に、そのサトリさんみたいになってほしいと思ってサトリという名前をつけてくれました。

私の将来の夢は、貧しい国や地域のボランティアになることです。まだ6歳だったころの母との会話を思い出します。学校から帰って母とテレビを見ていました。テレビでは土砂崩れや洪水や地震など、災害のニュースが流れていました。そして救助隊や住民たちが協力して被災者を捜索し、被災者に心の支えを与えている様子が映し出されていました。「あの人たちのようになりたい。」と、私は母に言いました。母は答えました。「あの人たちはお金をもらっていないのよ、それでもいいの？彼らが助けに来たのは、人々の苦しみを少しでも和らげたいと思っているからなのよ。」私が将来、人道支援活動をしたいと考えるようになったのは、母

の言葉がきっかけです。今でも心に深く残っています。

また、いくつかの著名人の活動にも影響を受けました。教育支援や女性のエンパワーメントに力を入れているオブラ・ウィンフリー。UNHCRと共に紛争地域で難民支援を行い、現地へ足を運んで活動しているアンジェリーナ・ジョリー。最近ではインドネシアのイファン・グナワンが東アフリカのウガンダにモスクや井戸を建設して水不足に苦しむ人々を支援していることを知りました。乾燥していた土地が緑に変わったという話もあり、その行動力にとっても感動しました。私もいつか人の役に立てる存在になりたいと強く思っています。

今のところ私の貯金はまだ十分ではないので、お金で助けることはできません。だから自分の力でできる活動に参加しています。定期的に「献血ルーム青葉」で献血や成分献血をしています。三保の松原や公園や駅など、自分が住んでいる地域のゴミ拾いのボランティアもしています。ある時、貴重な経験をしました。そこで知り合った人に「仕事が終わったばかりですよ。ね。疲れていませんか。どうしてそのまま帰らないでゴミ拾いに参加しているのですか。」と尋ねると、「もちろん疲れていますよ。でもここに来てみんなと会えると、仕事のストレスが無くなります。それに私は静岡で育って、静岡で働いて、静岡は私にたくさんのことを与えてくれました。だから静岡に感謝の気持ちを伝えたいのです。」と言ったのです。私は感動しました。

良いことをして「ありがとう」と言われると、生きていてよかったと感じます。今はまだ自分ができることは小さいですが、人を助けられる人になれるように、これからも努力を続けていきたいと思っています。